



2022年5月30日
住友 EXPO2025 推進委員会

2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）への パビリオン構想概要発表のお知らせ

住友 EXPO2025 推進委員会は、2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）へグループ19社でパビリオン「住友館（仮称）」を出展します。このたび、パビリオンの構想概要がまとまりましたので、以下のとおりお知らせします。

住友館では、森・自然を含むあらゆるいのちの多様性を認め、チャレンジ精神とテクノロジーで社会課題を解決し、夢のあるエンターテインメントを通じて、みんなが集い語る場をつくります。

その上で、我々が大切にしたいのは、空間に包まれる、五感を研ぎ澄ます、仲間と共有する、といったここでの体験がいつかどこかで記憶の片鱗となって蘇ったとき、ほんの少しでも、笑顔になったり、背筋が伸びたり、優しくなれる、そんな原体験を未来をつくる子どもたちとすべての人に提供することです。バーチャル空間も含めて多様な体験が溢れるこの時代に、あえてリアルな住友パビリオンに足を運んでいただけるよう、ここでしかできない体験をしていただくことを考えています。

展示内容については検討中ですが、「Unknown Forest 誰も知らない想像の森へ」を展示タイトルの案としました。

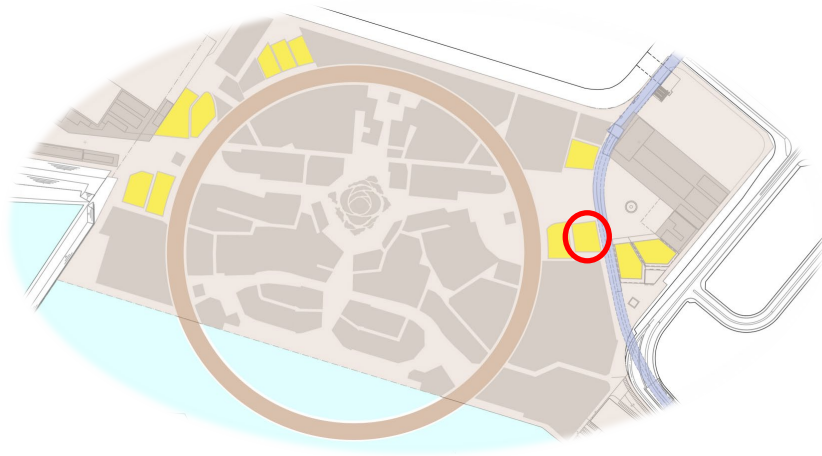
誰も知らない神秘の森に足を踏み入れ、自らの意思で森をめぐり、探りながら突き進むとやがて何かを発見する。そうした奇跡的な瞬間の連続を目の当たりにし森を出るとき、そこには新しい想像力が芽生え、新しい未来を描く力が宿っている、そんな展示内容を考えています。

なお、パビリオン建設にあたっては、住友グループが全国に保有する森の木材を全面的に活用するなど、いろいろなアイデアや知恵を盛り込んで、今日の万博に相応しい姿をお見せしたいと思います。

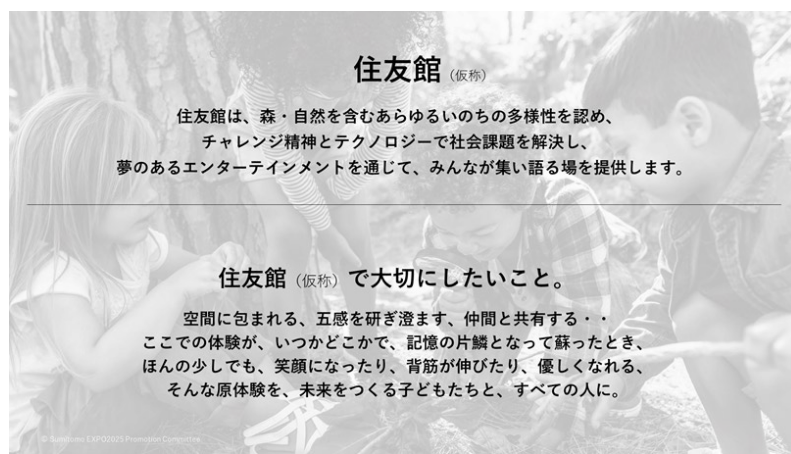
大阪・関西は住友発祥の地。万博への出展は、大阪・関西エリアの更なる発展にも貢献できるものと考えています。今回のパビリオン出展を通じて、約400年に及ぶ住友の歴史の中で培ってきた英知や技術、人材を集結させ、豊かな未来を創り出していきたいと願っています。

以上

■ 出展区画 ※黄色の民間パビリオンの内、「住友館(仮称)」は赤枠。



■ 5月30日「民間パビリオン出展者発表会」資料



■ 住友 EXPO2025 推進委員会 参加企業 (19 社)

住友化学、住友重機械工業、三井住友銀行、住友金属鉱山、住友商事、
三井住友信託銀行、住友生命保険、住友倉庫、住友電気工業、三井住友海上火災保険、
日本板硝子、NEC、住友不動産、住友大阪セメント、三井住友建設、住友ベークライト、
住友林業、住友ゴム工業、住友ファーマ